

令和8年度向け 学校説明会用資料

数矢小学校は、こんな学校です



江東区立数矢小学校
校長 澤田 純二

数矢小学校は、こんな学校です

- 教室数 通常 26 (令和8年度は25?)
- その他 音楽2 図工2 理科 家庭科
算数2 英語 他
- 運動場 第1校庭 第2校庭 体育館
- プール 25m4コース
- 児童数 788名 (8月25日現在)
- 1, 2, 5学年4学級 3, 4学年5学級
- 主な学校行事、沿革史 ・ ・ ・ H P 参照

江東区立数矢小学校は、令和8年度、開校114周年を迎えます。学区域には親子3世代にわたる在校生、卒業生も多く、地域に根ざした学校環境の中で、保護者・地域の多大なる協力を得ながら学校の教育活動を進めています。令和7年度よりコミュニティ・スクールとなり、「地域で学び、地域を生かし、地域と行動する」を合言葉にして教育活動に取り組んでいきます。

教育目標

人や自然との関わりの中で、未来を切り拓くための資質や能力を育み、共に支え、共に生き、将来に夢や希望を抱きながら生活できる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

- たくましい子
- 響き合える子
- よく考える子

文科省が目指す「生きる力」は、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力からなるものです。本校の教育目標および目指す児童像もこれに習って、上記のようにしています。

よく考える子

自ら学ぶ

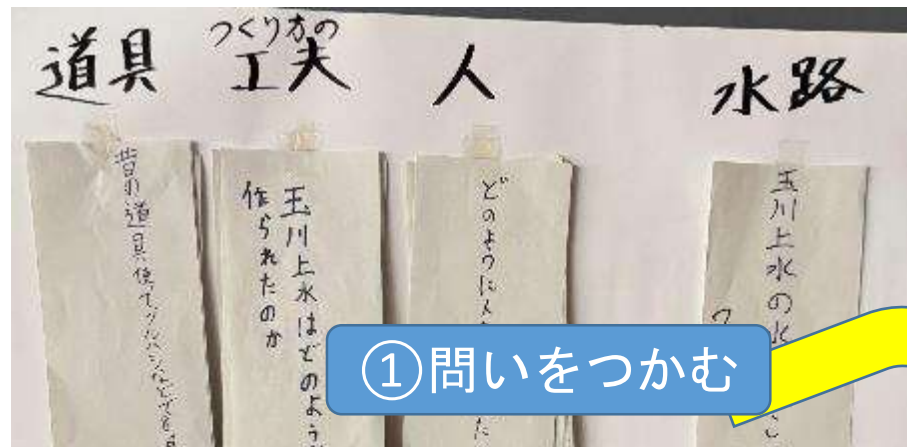
問題解決の力
自ら学習を
調節する力



「よく考える子」です。今年度は、問題解決力を育成するために、「自ら学びを調節する力」を重視しています。

よく考える子

問題解決的な学習



①問いをつかむ

②追究し、
まとめる

③いかす



問題解決学習を繰り返すことで問題解決の力が身に付いてきます。

- ①問い（課題）をつかむことが大切です。
- ②体験的に追究し、調べたり、考えたりして、対話的に学び、まとめます。
- ③考えたことを表現（提案）、活用（行動化）します。

よく考える子



追究し、まとめる段階 つまり、知識を得たり、技能を身につけたり、調べたりする段階では、体験的に学ぶ事が重要です。写真は、2年生の図書館探検、3年生の社会科見学、6年生の日光移動教室です。

よく考える子

学び方スタンダード

学び方スタンダードとは、学力向上を図るうえで、確かに身に付けさせたい学習習慣等を示したものです。

- 持ち物 前日に必要な学習用具を準備します
- 着席 授業の始まりの時間を守り、席に着きます
- 挨拶 授業の始めと終わりにあいさつをします
- 姿勢 背筋を伸ばした姿勢で座ります
- 話し方 声の大きさを考えて、ていねいな言葉づかいで話します
- 聴き方 話している人を見て、最後まで静かに話を聴きます
- 返事 (小・義前) 名前を呼ばれたら「はい!」と返事をします
- 提出物 (中・義後) 提出物の期限を守ります
- 家庭学習 (小・義前) 学年ごとに時間を決めて、家庭学習に取り組みます
(中・義後) 自ら計画を立てて、家庭学習に取り組みます



江東区教育委員会では、平成24年度から区内全小中学生が必ず身に付ける内容を「こうとう学びスタンダード」として示し、小学校は学び方・体力・国語・算数・英語 他のスタンダードに取り組んでいます。さらに、令和2年度からは、新学習指導要領などに対応し、こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）として取り組みを発展させています。

よく考える子

基礎的・基本的な学習内容
思考力・判断力・表現力
自己表現力・語彙力



音読・朗読



英語でのコミュニケーション



対話トレーニング
(インタビュー)

6年生薬物乱用防止教室

こうとう学びスタンダードを使った学習や言語活動等を学習に加えて習熟から活用を目指します。音読や朗読の表現活動を重視してきたことから、本校児童の発表力、表現力の蓄積が進んでいると言えます。聞く力や話す力、英語でのコミュニケーション力を高めることも重要です。そうすることで、学力向上を目指していきます。

よく考える子

芭蕉 縁の深い地域の特色を生かした俳句教育

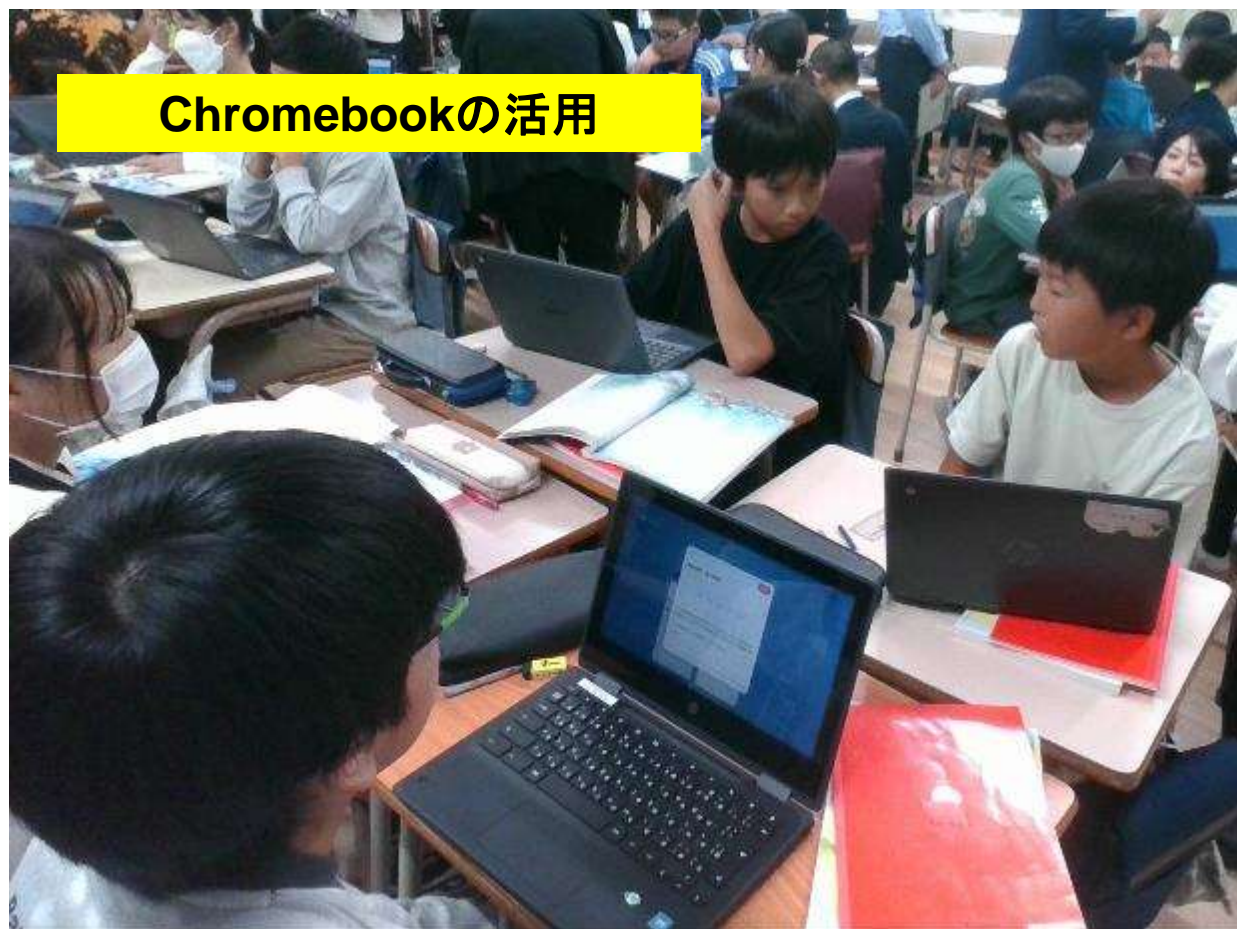


優れた俳句の表彰

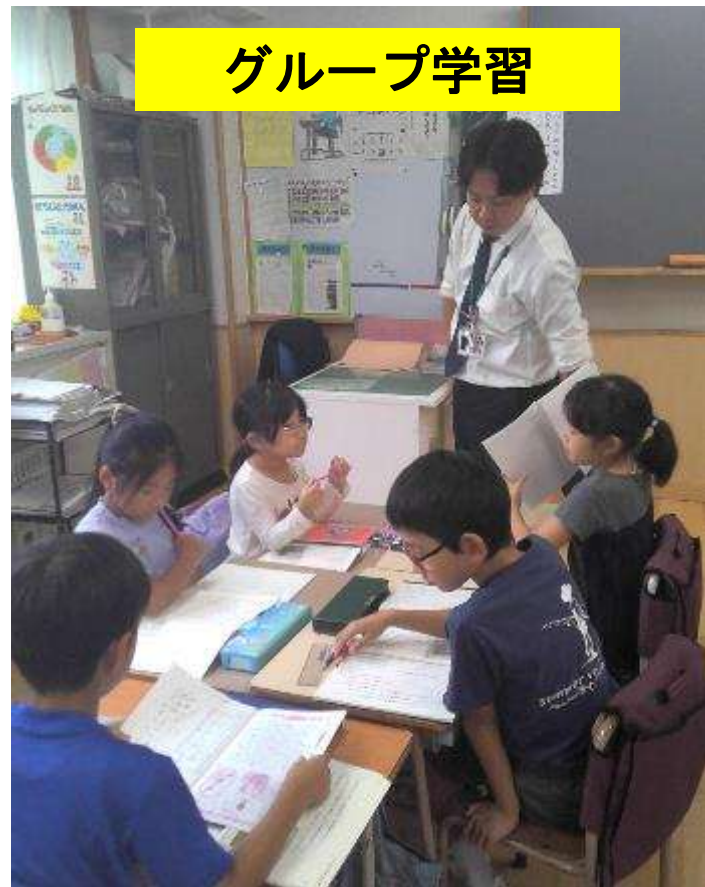
江東区では、「こうとう学びスタンダード」国語スタンダード項目の一つとして「季節を感じ、俳句に親しみます」の項を小中学校で取り上げています。本校では、松尾芭蕉ゆかりの地で学ぶ子どもたちとして、言語能力を高めるとともに、俳句の良さを通して感性を磨き、思いやりの心を育てていくことがねらいです。

よく考える子

主体的、協働的な学び



Chromebookの活用



グループ学習

主体的な学びを進めるためには、協働的な学びが重要です。そのためには、場の設定や時間の確保、対話を進めるための教材や思考ツールを活用する等、工夫をしながら学習を進めていく中で、児童も対話力が高まっていきます。本校では、アナログとデジタル（Chromebook）の併用で授業を効率よく進めています。

よく考える子

スタンダード講師を活用した学習



スタンダード強化講師の活用は、体育、国語、算数、英語他の、各教科で成果を上げています。算数科では、担任、算数少人数担当教諭、スタンダード講師で2学級3展開で授業を行っています。T1、T2で行うこともあります。

よく考える子

令和7年度 全国学力学習状況調査（6年生）の結果より

令和7年度

平均正答率(%)

	国語	算数	理科
数矢小学校	77	76	67
東京都(公立)	70	64	60
全国(公立)	66.8	58.0	57.1

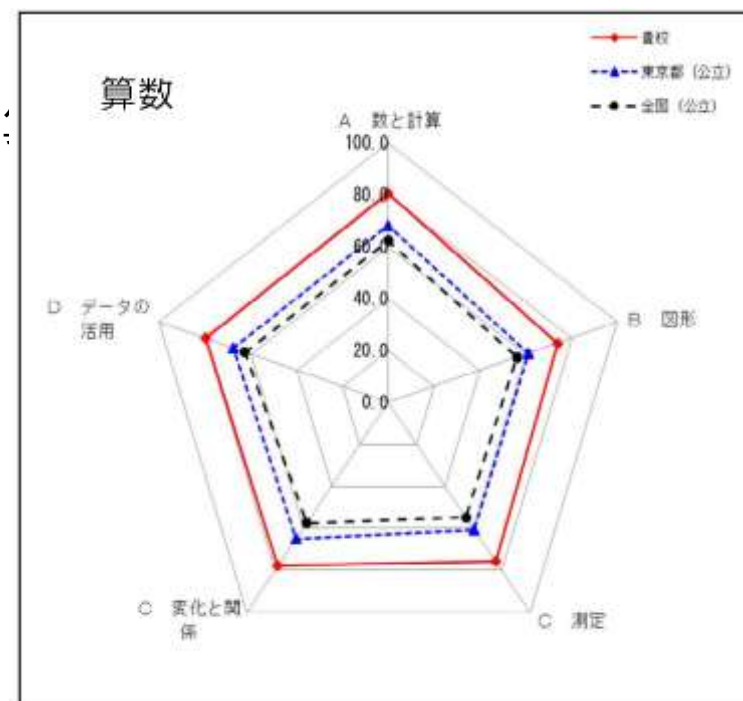
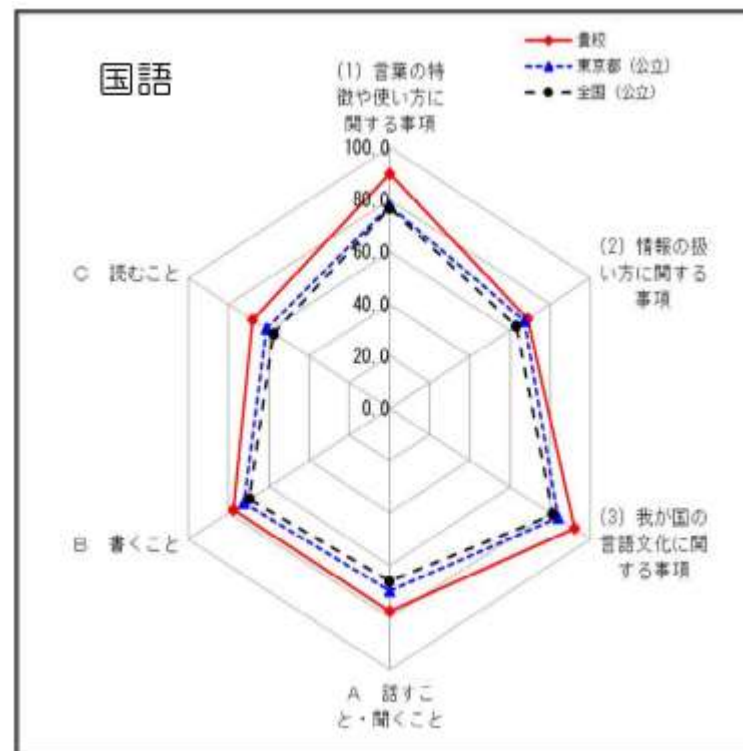
〈結果の概要〉

国語科、算数科ともに、全国や東京都の平均を大きく上回っています。

問題別で分析すると、国語科では「情報活用」が課題があります。

算数科では、下回る学習事項はありませんが、計算技能は確実になるよう高める必要があります。

自分に関するアンケートでは、学校生活が楽しい90%でよかったのですが、自分のよさの気づきが77.5%だったので、自己肯定感を高めていきたいと思います。



よく考える子

放課後学習



学習面を手助けしてくれる「放課後教室」も
子どもたちの学びの助けとなっています。

響き合える子



絆を深める

SDGsと地域愛
コミュニケーション能力
主体的な学級づくり
リーダーシップ
フォロアーシップ
(たてわり班・地域班)



響き合える子です。数矢小学校の子は、思いやりのある子どもたちですが、さらに、様々な取り組みによってコミュニケーション能力を高め、自他のよさを認められるようにしていきます。まず、挨拶から。そして、自己肯定感を育てていきます。

響き合える子

元気なあいさつ・心を育てる



あいさつ運動



音楽朝会



消防写生会

挨拶は思いやりの心を育てます。本校では、年間を通じて「心のはいおあしす運動」を実施し、全校で声掛けや指導を徹底しています。

また、音楽朝会等を通して、感性や心を育てる教育を進めています。

たてわり班活動

全校遠足



たてわり交流給食



たてわり班活動は児童のリーダーシップやフォロアーシップ、集団として行動する際の社会性など育てていきます。委員会活動やクラブ活動でも、縦割りの良さが発揮されています。

学校探検



響き合える子



6年生を送る会

展覧会



展覧会では、各学年のこども一人一人の力作な多数並びます。たてわり班でも作品を協力してつくりました。

音楽会



温かい雰囲気音楽会は、こどもたちのやさしい心も育んでくれました。

響き合える子

日光移動教室・岩井臨海学校等 宿泊行事



共同生活の中では様々な問題が生まれます。その問題解決をしていく過程は、互いのことを思いやる気持ちを培うとともに、成功体験での自信が、自己肯定感を高めるとても大切な時間となっています。

響き合える子

いじめ対策

令和6年4月1日
江東区立数矢小学校
校長 澤田 純二

江東区立数矢小学校いじめ防止基本方針

いじめ防止対策推進法第13条に基づき、本校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定める。

※ いじめの定義（いじめ防止対策推進法第2条）

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

1 いじめ防止等の基本的な考え方

(1) いじめに対する基本認識

いじめは、いじめを受けた児童・生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであり、人として決して許されない行為であるという、いじめに対する認識を全校職員で共有する。いじめ防止対策推進法第4条では、「児童等は、いじめを行ってはならない。」（いじめの禁止）と規定されている。

そして、「いじめは、どの学校・学級でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童・生徒はいない」という共通認識に立ち、児童・生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにするため、いじめ防止対策推進法第8条に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。

(2) 学校及び学校の教職員の責務（いじめ防止対策推進法第8条）

学校及び学校の教職員は、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの未然防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

※特に、いじめを受けた被害者に寄り添った対応を行う。

心も体も未熟なこどもたちは、間違いをします。
それが「いじめ」という形で出ることもあります。
いじめ防止基本方針をもとに、早期発見、早期対応
に努めていきます。



いじめ

みかたになる
たすける

こえをかける
よりそう



みんな
なかよし



ごめんね



たくましい子



心も体も

たくましく



体幹

自己肯定感とストレス耐性

目指すのは、持続可能な地域社会の担い手としての資質・能力を身に付けようとする心も体もたくましい児童です。人間関係を作る力・自己理解・自己管理能力、課題に対応する力を育成していきます。また、ストレス耐性を高めることで、将来的には、自己の個性を理解して自己実現を図ることができるようにします。今、本校の児童で課題となっていることの一つが、自分の体のことを知る力です。それをもとに学習していくことで、

日常的な体力づくり



体力テストの結果を分析して、学びスタンダードにも取り組み、体育科の授業に活かしています。また、一人一人の児童に適した体力向上を日常化したり、外遊びを充実させたりすることによって、児童が生涯体育に取り組めるようにします。



スーパードッチボール大会



体幹を意識した姿勢

運動会・連合運動会



運動会等行事やスポーツ推進など、日常的に体力向上に取り組んでいます。

たくましい子

総合的な健康教育（保健指導・体力向上・食育等）



保健指導・体力向上・食育等、総合的に健康教育を推進することで、生涯にわたり心身共に健康な生活を送るための基礎を培います。ご家庭に協力していただきたいのは、「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底と「体幹」をつくることです。これは豊かな心や学力向上にもつながります。



清掃活動



ボッチャフレンドリーマッチ

たくましい子

不登校対策、教育相談、特別支援教育

校内委員会



小一支援員
学習支援員



ひまわり教室
(特別支援教室)



各教科個別指導
自立活動

いじめ対策や不登校対策、教育相談は組織的に取り組んでいます。特別支援教育も、校内委員会を中心にスクールカウンセラーや区の関係諸機関と連携して充実を目指しています。小一支援員や学習支援員、特別支援教室専門員の役割も重要です。基本的には、個別最適な学びを目指して、児童が学習や活動に取り組み、充実感がもてるようにしていくとともに、指導者や他の児童、保護者等からの適切な賞賛を繰り返し得るようにし、結果よりその努力を適切に認めていくことで褒めて自信がもてるようにします。それが、こどもたちの豊かな人間性に繋がっていきます。

たくましい子

不登校対策 不登校対策委員会

ほっとルーム

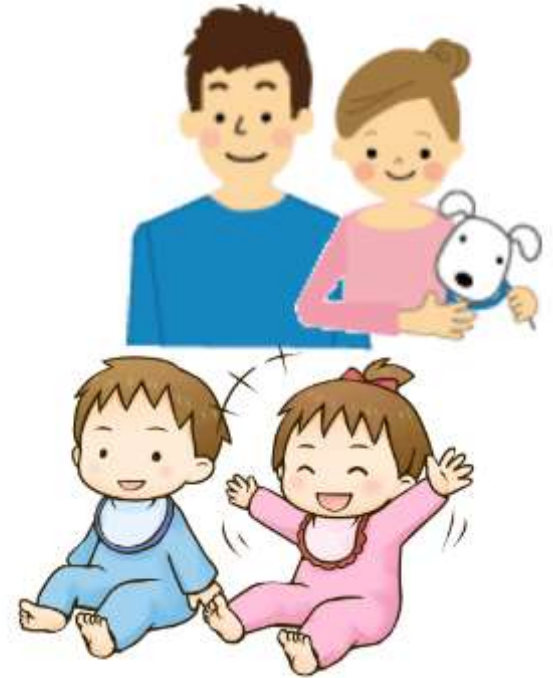


不登校対策も不登校対策委員会を中心にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）、区の関係諸機関と連携して一人一人に合わせた対策考え、実施しています。今年度より、「ほっとルーム」をつくり、別室登校が充実できるようにしました。また、「家庭と学校の連携事業」もＣＳかずや応援団と共に進めています。

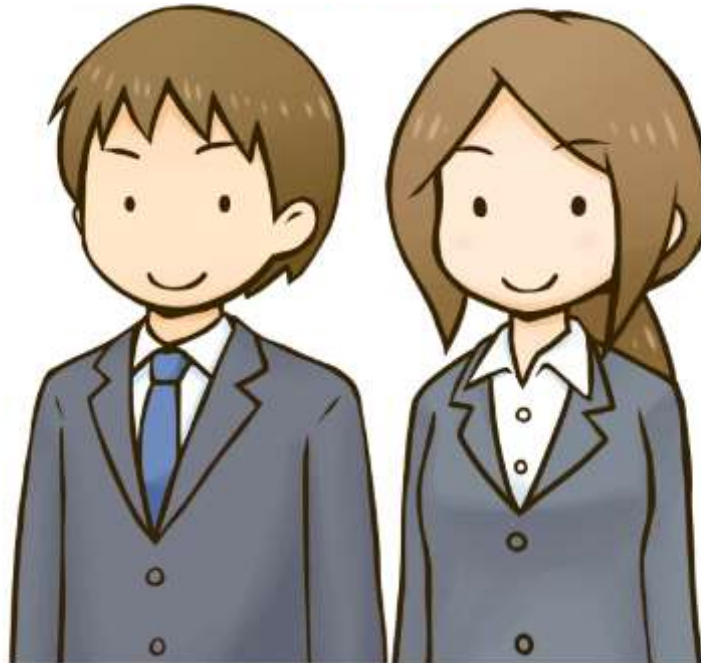
たくましい子

こどもの自立を見守る

- こどもの問題を大人が解決しない
- ストレス耐性を高める（我慢も）
- 価値観を共有する（おしつけない）
- 気持ちを理解し合う（よりそう）
- コミュニケーションを大切にする
- 多くの人と交流する機会をつくる



自己肯定感
と
ストレス耐性



成長…
就職…
自立…

数矢小学校の特色ある教育活動

地域を活かした学び

コミュニティ・スクール



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



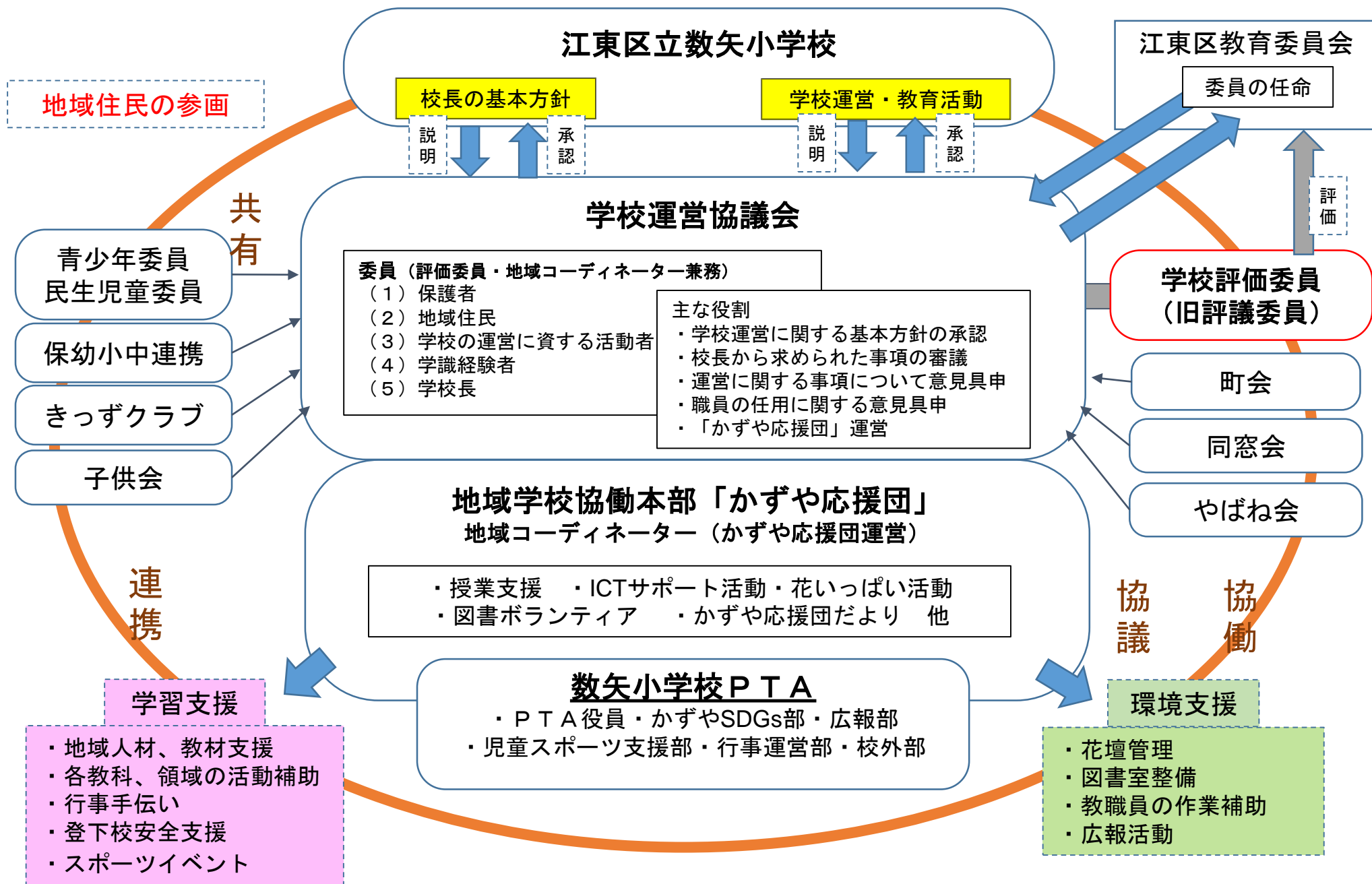
持続可能な地域社会の一員としての資質能力を育てる

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5の 規定及び江東区学校運営協議会規則を設けて設置

学校と地域が一体となって子どもたちの
生きる力をより一層育むことを目指す。



数矢小学校コミュニティ・スクール「CSかずや応援団」案



特色ある教育活動

地域学校協働本部

(かずや応援団)とは

平成29年3月に社会教育法の改正により「地域学校協働活動」が法律に位置付けられました。東京都では平成20年度から取り組んでいた「学校支援地域本部」を基盤に整備を進めています。「地域学校協働本部」は、学校支援活動をはじめとして幅広い地域住民の参加を得ながら「学校を核とした地域づくり」を目指すための「仕組み」です。

数矢小学校では、この取組を平成27年度から始めました。「かずや応援団」は地域の方々の力をお借りしながら、数矢小学校を支援(応援)しています。

<https://www.city.koto.lg.jp/583210/kyoudou.html> 江東区 HP「地域学校協働本部事業」

かずや応援団 図書ボランティア



図書ボランティア 募集中！

時間・場所

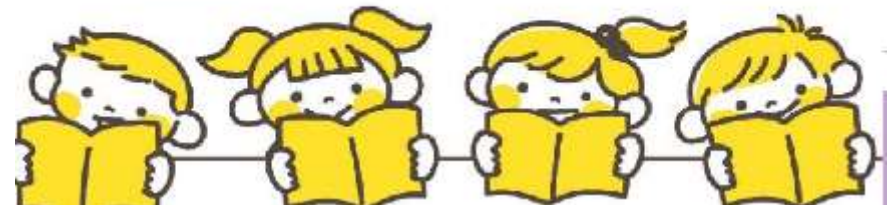
毎週木曜日
10～12時
4階 図書室

活動内容

蔵書整備
室内装飾
読み聞かせ
学級文庫整備
など

ここがおすすめ！

子どもたちと
触れ合いながら
できます！



特色ある教育活動

かずや応援団 花いっぱい活動



保護者の仲間作り

校庭の周りにお花の植栽コンテナを置き、理科の授業支援などの活動を行っています。
2023年11月12日には、参加者を募り、有志の親子14組にご協力いただき、卒業式、入学式シーズンに向けて学校が華やかになるようにプランターに花の苗植えを行いました。
今後もこのような活動を通して、土に触れる機会、親子いっしょに苗を植えるといった機会を作っていきたいと考えています。

特色ある教育活動

木工教室



木場の町らしい行事です。やばね会のみなさんが、毎年、木に親しむことをねらいとして開いてくださいます。こどもたちは熱心に、楽しそうに作品作りに取り組んでいました。

特色ある教育活動

交通安全教室・自転車安全教室



交通安全教室や自転車安全教室（3年生）では、警察や安全協会の方にご指導いただきます。地域の自転車屋さんにも来ていただいて、無料で自転車の点検・整備を行っていただいています。

特色ある教育活動



P T A 活動



特色ある教育活動

第2学年 生活科「まちたんけん」



第2学年では、「まちたんけん」という生活科で、身近な人々に対する気付きに重点を置き、地域のお気に入り施設や、もっと知りたいことについて、その施設の方にインタビューを行い、施設の秘密やそのよさに気付くようにしました。国語科の学習で培った資質・能力を生かして、地域の方と関わりや対話を広げることができるようにしていきました。かずや応援団の皆さんが、地域の皆さんと繋いでくださいました。



特色ある教育活動

相撲教室



富岡八幡宮のご紹介で、大嶽部屋の若力士の方に相撲教室を開いていただきました。

たくましい子 響き合える子 よく考える子

学年会 教材研究・授業研究・研修をする先生



学校教育目標を達成するため、数矢小学校の教職員は日々、研究・研修をし、努力しています。